



皆野中だより 12月号



【文化祭 芸術部の大壁画】

令和4年11月30日発行 第10号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076



【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】「主体性」「社会性」「将来性」を培う生徒の育成
～人とつながる・人をつなぐ・人につなげる学校～

生徒数 1年86名 2年71名 3年82名 合計239名

部活動の現状とこれから

校長 小菅恭青史

現在、部活動を取り巻く状況が大きく変化しています。少子化の煽りを受け、生徒数や教員数も大幅に減少しています。生徒数最多と言われた昭和61年、589万人であったものが、令和3年には296万人と半減しています。

その一方、部活動数については、ほぼ変化していない状況にあります。本校も例外ではなく、今年度「部活動再編計画」を練り、部活動数の縮小化を3か年計画で進めています。具体策①は、「陸上部の廃部」です。令和6年度より新入部員の募集を停止します。開催される各種大会には希望者を募って練習・参加します。具体策②は、「音楽部と芸術部の統合（令和6年度文化総合部(仮称)）」です。文化芸術等を親しむ新たな環境の構築です。具体策③は、「単独チームが編制できずに大会出場不可の部の廃部」です。単独チームが編制できなかった部は、その次年度から新入部員の募集を停止し、2年後の学総体をもって廃部とします。ただし、指導者のいない個人種目等については、地域活動を優先したり（部活動を免除したり）、中体連の公式大会には参加できるよう配慮します。

このように具体的な対策を講じなければならない中、「教員の働き方改革（長時間勤務の是正）」が求められ、スポーツ庁や文化庁は「働き方改革を踏まえた部活動改革」を示し、部活動の段階的な地域移行の提言をとりまとめました。

学校教育の一環として行われている部活動は、異年齢の交流はもちろん人間関係の構築、学校の一体感や愛校心の醸成、体力向上や健康増進にも大きな意義があります。しかしながら、深刻な少子化が進行し、持続不可能な状況が生まれています。地域間格差もあります。将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にしていこうとしています。課題は山積です。今後、学校の実情や生徒・保護者のニーズや教員の意向も踏まえ、皆野町や秩父地域において、協議会等を設置し、地域における新たな部活動の在り方や各団体への支援策、教員の兼職兼業の仕組み、必要な経費や人員、施設などについて検討・措置していく必要があります。子供たちにふさわしい部活動改革が望まれます。

みなさんは、自分たちの部活動に今、何が起こっているのかわかりますか？

